

がん治療関連心筋障害の病理組織学的解析による発症メカニズムの解明に関する研究

1. 研究の対象

2010年1月～2021年3月に当院で心臓カテーテル治療（心筋生検）を受けられた方、死後超音波ガイド下生検（ネクロプシー）を受けられた方

2. 研究目的・方法

近年のがん治療の発展によりがん患者の生命予後が改善してきている一方で、がん治療による心筋障害（心不全）が問題となっていますが、その診断方法や、病状の程度の評価方法の確立は未だ不十分です。本研究では、これまでにがん治療中に心筋障害を来したため当院で心筋生検を施行し、すでに得られている心筋の組織を利用します。心臓の組織を国立循環器病研究センターと共同で解析することにより、その特徴を明らかにし、心筋障害の発症機序の解明を目的とします。がん治療関連心筋障害の病態を明らかにし、臨床に応用することで、がん患者さんのさらなる予後改善を目指します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号、病理検体番号 等

試料：心臓の組織

4. 外部への試料・情報の提供

国立循環器病研究センターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

大阪国際がんセンター 藤田雅史

国立循環器病研究センター 畠山金太

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

様式第 1-5 (2018. 4. 1 版)

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 腫瘍循環器科 藤田雅史

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究代表者(責任者)：

大阪国際がんセンター 腫瘍循環器科 藤田雅史

-----以上